

# 県土整備部 事業概要2026

令和8年  
4月

災害に強く安定した経済活動が可能な群馬県の実現



# 目 次

県土整備部の基本方針	2
20年後に目指す将来像	3
政策・施策及び方策の体系	4
<b>政策1 災害レジリエンスNo.1の実現</b>	<b>5</b>
施策1 オール群馬による水害対策の加速化・高度化(流域治水の推進)	6
施策2 大規模災害を想定した事前防災の推進	8
施策3 「逃げ遅れゼロ」に向けた避難のサポート	11
<b>政策2 持続可能で効率的なメンテナンス</b>	<b>12</b>
施策1 予防保全に基づく長寿命化	13
施策2 効率的な維持管理	14
施策3 新技術を活用したインフラメンテナンス	15
<b>政策3 未来につながる魅力的なまちづくり</b>	<b>16</b>
施策1 エリア価値を創造する未来投資	17
施策2 持続可能で暮らしやすいまちづくり	18
施策3 地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備	19
施策4 誰もが安全に移動できる環境づくり	21
<b>政策4 美しく良好な環境の保全</b>	<b>22</b>
施策1 豊かで美しい自然環境の保全・再生	23
施策2 健全な水循環の維持・回復	24
施策3 地球温暖化対策の推進	25
県土整備部の予算と推移	26
県土整備部の組織	27

# 県土整備部の基本方針

社会資本整備は、県民の安全・安心を確保するとともに、経済成長や持続可能な地域社会の基盤となる、県民の幸福度向上に欠かすことのできない未来への投資です。

20年後の将来を見据え、災害に強く魅力的な群馬を創るため、「ぐんま・県土整備プラン2025」に基づき、様々な取組を展開します。

## ぐんま・県土整備プラン2025とは

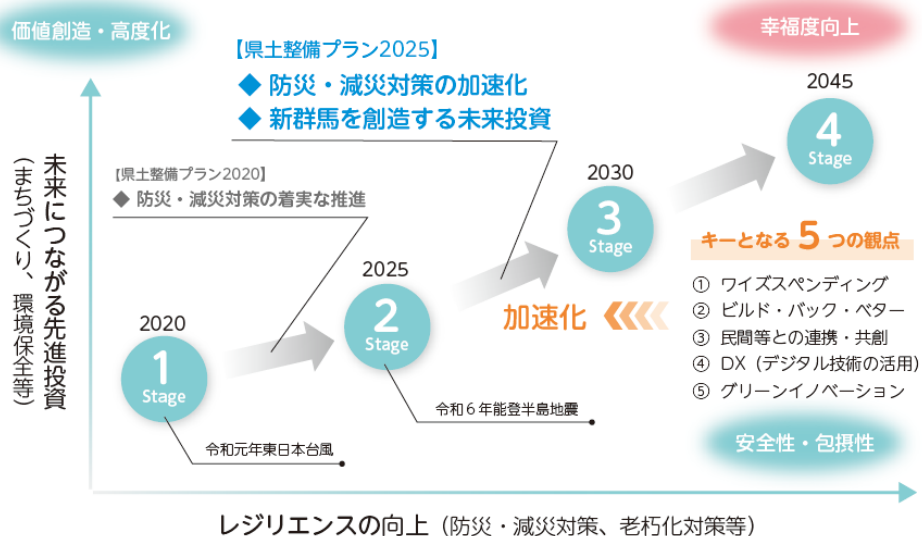
2045年に目指す将来像の実現に向けて、道路や河川、砂防施設、県立公園、下水道、県営住宅など、社会資本の整備や維持管理を「どのような考え方で、どのように進めていくか」を示す県土整備分野の最上位計画です。

## 計画期間

令和7年度（2025年度）～令和16年度（2034年度）【10年間】

## 群馬の可能性を喚起し、未来へつながる社会資本整備の基本的考え方

社会資本整備の新たなステージへの移行イメージ



「気候変動の影響等による気象災害の更なる頻発化・激甚化」や「切迫する大規模地震」などの状況を踏まえつつ、ビルド・バック・ベターの考えを取り入れ、防災・減災対策の更なる推進により群馬県のレジリエンスを一層向上させます。

また、「コロナ禍を経た社会構造の変化」や「デジタル革命の加速」などの状況を踏まえつつ、市町村・民間等との連携・共創やグリーンイノベーションの推進により、県民の潜在的ニーズや群馬の可能性を喚起し、群馬ならではの未来につながる社会資本整備を進めます。この二つの方針を軸として、社会資本整備を新たなステージへと進めます。



# 20年後に目指す将来像

群馬県の基本理念である「すべての県民が、誰一人取り残されることなく、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型社会」の実現に向け、社会資本整備分野が20年後（2045年）に目指す将来像を描きます。

## 20年後に目指す将来像



## 20年後に目指すぐんまの姿

### 災害に強く、安定した経済活動が可能な群馬県

- 災害時にも経済活動の継続性が確保され、企業の県内進出や移住・定住が進んでいます。
- 災害時の孤立集落の発生がなくなります。
- 水害や土砂災害からの逃げ遅れによる死者がいなくなります。
- 災害時においても地域の安全を守る体制が維持されています。

### 誰もが安全・快適に移動でき、人と人、人と地域のつながりを生み出す群馬県

- 次世代モビリティの普及や移動手段がシームレスにつながり、誰もが安全、便利に移動できます。
- 移動時間が短縮するとともに、渋滞がなくなり、あらゆる産業の生産性や観光の周遊性が向上しています。
- 安全な道路空間が整備され、子どもたちが安心して通学しています。

### 地域に愛着や誇りを持ち、良好な社会環境のもとで持続的に暮らせる群馬県

- 居心地の良い歩きたくなる人中心のまちなか空間の創出により、地域の魅力が高まり、周辺の民間投資が進んでいます。
- 群馬ならではの未来投資により、群馬が世界から注目される都市になっています。
- 豊かで美しい自然環境が引き継がれています。
- 再生可能エネルギーの利活用などにより、賢い成長と持続可能な社会が両立しています。

誰もが幸福を実感できる社会

# 政策・施策及び方策の体系

今後10年間の政策の方向性を踏まえ、目指す将来像を実現するための政策・施策や社会資本整備と維持管理の担い手の確保・育成のための方策、社会資本整備の進め方についての方策を推進します。さらに、社会資本整備の取組を加速させる重要な観点である「連携・共創」、「DX」、「GI」の3つの観点を「横串の視点」とし、群馬ならではの取組を展開します。

## ◎ 将来像を実現するための政策・施策

### 政策1 災害レジリエンスNo.1の実現 **最重点**

- 施策1：オール群馬による水害対策の加速化・高度化（流域治水の推進）
- 施策2：大規模災害を想定した事前防災の推進
- 施策3：「逃げ遅れゼロ」に向けた避難のサポート

### 政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

- 施策1：予防保全に基づく長寿命化
- 施策2：効率的な維持管理
- 施策3：新技術を活用したインフラメンテナンス

### 政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

- 施策1：エリア価値を創造する未来投資
- 施策2：持続可能で暮らしやすいまちづくり
- 施策3：地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備
- 施策4：誰もが安全に移動できる環境づくり

### 政策4 美しく良好な環境の保全

- 施策1：豊かで美しい自然環境の保全・再生
- 施策2：健全な水循環の維持・回復
- 施策3：地球温暖化対策の推進

**共創**

横串の視点①

連携・共創による持続可能な社会資本整備

**DX**

横串の視点②

県土整備分野のDXの推進

**GI**

横串の視点③

グリーンイノベーション(GI)の推進

## 方策1 社会資本の整備と維持管理の担い手の確保・育成

方策1-1：建設産業の働き方改革

方策1-2：建設現場の生産性向上

方策1-3：建設産業の魅力の発信

## 方策2 計画の推進に当たって

方策2-1：地域ごとの災害対応組織力の維持

方策2-2：選択と集中による効率的・効果的な事業の推進

方策2-3：社会資本の複合的な投資効果の追求

方策2-4：わかりやすい情報発信による県土整備行政の見える化

方策2-5：県土整備プランの実効性の確保